

国語科 担当教員：

使用教材：教科書、副教材（ワーク、漢字ワーク、プリント等）

【学習目標】

- ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

1 年	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3	
	言葉に出会うために	学びをひらく	新しい視点で	言葉に立ち止まる情報×SDGs	いつも本はそばに	書写	夏休み	心の動き	筋道を立てて	いにしえの心にふれる	いつも本はそばに	書写	冬休み	自分を見つける	書写	学びを深める								
	時間	7	1 2	1 4	7	1		6	2 0	1 0	1 8	1		6	1 0	8	2 0							

学年計 140h

学年
計 140h

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
2 年	広がる 学びへ	多様な 視点から	言葉と 向き合う	情報×SDGs いつも本はそばに	書 写	夏 休 み	人間の きずな	論理を 捉えて	いにしえの 心を訪ねる	価値を語る いつも本はそば に	書 写	冬 休 み	表現を見つ める	書 写	学びを深める
時間	1 0	2 2	8	1	6		2 0	1 8	1 0	1	6		1 0	8	2 0

学年
計 140h

学年
計 140h

3 年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
	深まる 学びへ	視野を 広げて	言葉と ともに	書写	情報×SDGs いつも本はそばに	夏休 み	状況の中 で	自らの考 えを	いにし えの心 を受け 継ぐ	書写	価値を 生み出 す	冬休 み	いつも本 はそばに	書写	未来へ 向かっ て	学びを 深める
	時間	1 0	1 3	7	4		1	1 4	9	1 2	8	1	1 2	7	5	1 6

学年
計 105h

学年
計 105h

○授業について

- ・国語の力は一朝一夕につくものではありません。日々の授業と家庭学習を大切にしながら、少しずつ力を身に付けていきましょう。

○生徒の皆さんへ

- ・授業では場面に応じて以下のことを積極的に、適切に行いましょう。
「話す（発表、意見交換など）」
「聞く（話し合い、討論など）」
「書く（ノート、メモ、作文など）」
「読む（読解、文章の理解）」
「言語（漢字、文法、音読など）」
- ・提出物は定期考査と同じく評価資料となります。忘れずに提出しましょう。

○生徒の授業におけるICTの活用について

- ・デジタル教科書を使用し、音読や資料提示を多くし、学びに向かう力を引き出します。
- ・調べる学習では、新聞、図書室、タブレット端末等を活用し、課題に対し、多様な考えをもつようにします。

○家庭学習はこのように取り組もう

- ・文章の読解については、本文とノートを繰り返し読み、授業を何度も思い出しましょう。
- ・言語・知識・漢字については、自分が間違えるところを中心に、何度もノート等で練習するのが効果的です。

○定期考査前はこのように取り組もう

- ・覚えることを整理し、効率よく暗記しましょう。
- ・ノートや授業のまとめを見ながら、授業の復習をしましょう。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
評価資料	定期考査 小テスト 提出物（ノート、ワーク、プリント等）	定期考査 小テスト 提出物（ノート、ワーク、プリント等）	授業観察 提出物（ノート、ワーク、プリント等） 個人内評価

